

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/4>

参考値

(データ集約：11/27)

採取場所	3号機原子炉建屋上部① (原子炉上北西側)		3号機原子炉建屋上部② (原子炉上北側)		3号機原子炉建屋上部③ (原子炉上北東側)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年11月12日 10時15分～10時45分		平成25年11月12日 11時05分～11時35分		平成25年11月12日 14時00分～14時30分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	3.3E-06	0.00	ND	-	2.2E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	6.7E-06	0.00	ND	-	4.0E-06	0.00	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約3E-6Bq/cm³、Cs-137が約3E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約8E-7Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/4>

参考値

(データ集約：11/27)

採取場所	3号機原子炉建屋上部④ (原子炉上西側)		3号機原子炉建屋上部⑤ (原子炉上中央)		3号機原子炉建屋上部⑥ (原子炉上南西側)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年11月13日 10時15分～10時45分		平成25年11月13日 11時05分～11時35分		平成25年11月13日 12時30分～13時00分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	7.7E-05	0.04	5.9E-05	0.03	6.4E-04	0.32	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-04	0.06	1.4E-04	0.05	1.4E-03	0.47	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約3E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約5E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/4>

参考値

(データ集約：11/27)

採取場所	3号機原子炉建屋上部⑦ (原子炉上南側)		3号機原子炉建屋上部⑧ (原子炉上東側)		3号機原子炉建屋上部⑨ (機器ハッチ開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年11月13日 13時20分～13時50分		平成25年11月13日 14時25分～14時55分		平成25年11月12日 12時15分～12時45分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	9.3E-05	0.05	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.1E-04	0.07	3.3E-06	0.00	2.3E-06	0.00	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約4E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<4/4>

参考値

(データ集約：11/27)

採取場所	3号機原子炉建屋上部⑩ (機器ハッチ開口部)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年11月12日 12時50分～13時20分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					
Cs-134 (約2年)	3.6E-06	0.00					2E-03
Cs-137 (約30年)	6.3E-06	0.00					3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約3E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。